

注 意 報

平成16年7月16日
長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察 注意報 第4号

果樹全般（なし、かき、かんきつ、ぶどう等） 果樹カメムシ類

1. 発生地域（対象地域） 県下全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

1) 諫早市、西彼町における予察灯及びフェロモントラップによる誘殺量は、平年より多く、多発した平成14年より多いか並の状況が続いている（第1～3図）。

2) 今年は、スギやヒノキの結実量が少なく、カメムシがそれらから離脱して果樹園へ飛来する時期が早いと考えられるため、8月前半までは、引き続き発生量が多いと予測される。

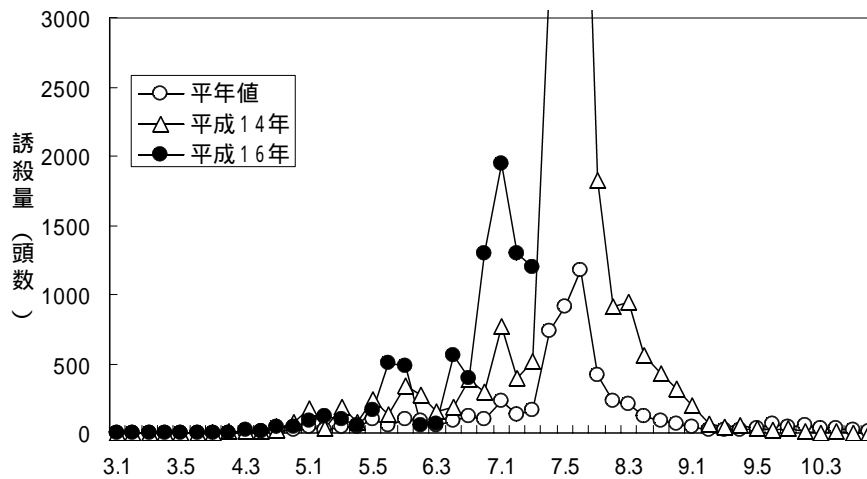
4. 防除対策

1) 飛来時期や飛来量は園によって差があり、特に山林（ヒノキ、スギ）に近い園ほど飛来が多くなる傾向にあるので、園内の発生状況に十分に注意し、早期に発見し、防除に努める。

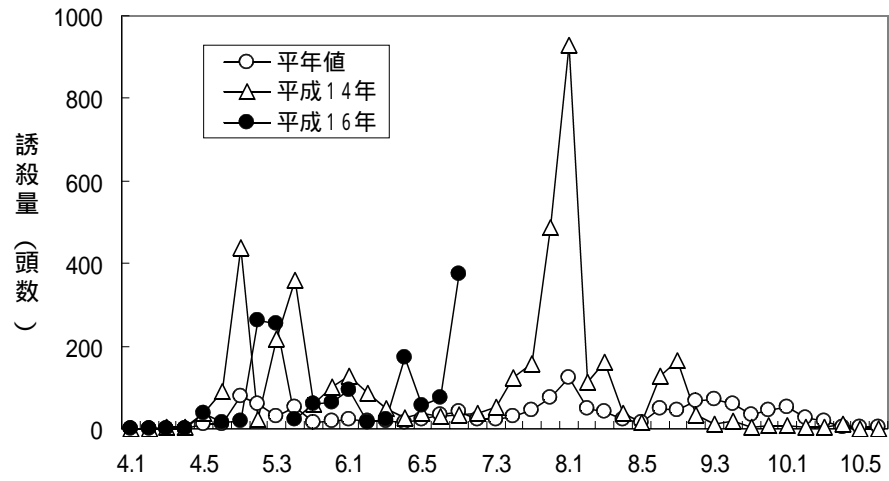
2) 特に収穫間近の樹種については、集中加害されるおそれがあるので注意する。

3) ハウス栽培では、開口部を防虫網（4mm目以下）で被覆し、また既に被覆済のハウスでも防虫網の破損がないか点検し、カメムシ類の侵入を防ぐようにする。

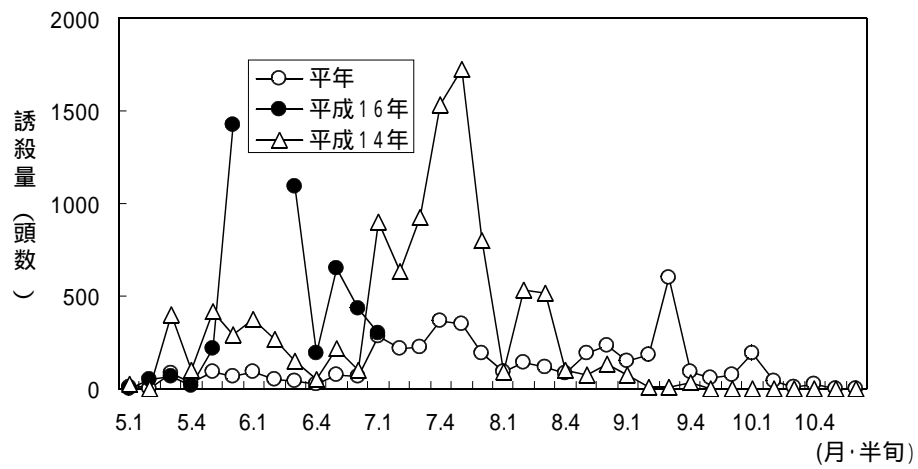
4) 薬剤散布に際しては使用基準を守る。



第1図 カメムシ類(チャバネ+ツヤアオ)のフェロモントラップ(黄色コガネコール)による誘殺量(諫早市)(月・半旬)
平年値:平成11～15年の平均



第2図 カメムシ類(チャルネ+ツヤアオ)の予察灯(青)誘殺量(諫早市) (月・半旬)
 平年値:平成8年を除く平成6~15年



第3図 果樹カメムシ類(チャルネ+ツヤアオ)の予察灯(青)誘殺量(西彼町)
 平年値:平成9~15年